

共同研究等における「学術貢献費」について

学術貢献費とは、共同研究等*1を希望する企業様に、研究者が長年にわたり蓄積した「学術的知見」に対し投資いただく枠組みです。学術研究と社会実装の更なる好循環を図るため、オプションとして設定しておりますので、計上をご検討願います。

お支払いいただいた学術貢献費は、研究者の研究領域に関連する研究費として幅広く活用させていただきます。企業等の皆様には、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

*研究者の学術的知見に対する対価については、文部科学省・経済産業省の資料でも示されています。

文部科学省ウェブサイトは[こちら](#)（産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン【追補版】一産学官連携を通じた価値創造に向けてー）

区分	費目	内容
直接的なコスト*2	直接経費	共同研究遂行のために必要となる謝金、旅費、消耗品費、光熱水料、人件費*3、設備購入費等の直接的な経費
	学術貢献費	共同研究等に従事する研究者が提供する学術的知見等への対価（金額は企業様と協議の上、決定します）
間接的なコスト	産学官連携推進活動経費 * 直接的なコストの30%以上を計上願います。	大阪大学の産学官連携の推進を図るために必要な経費（詳細は こちら ）

*1 対象となる共同研究等：共同研究、受託研究、共同事業、受託事業、共同研究講座（部門）、協働研究所

*2 企業等共同研究員を大阪大学が受け入れる場合は別途研究料が必要です。

*3 本学教員の人件費を計上いただける場合は、別途PI人件費制度（共同研究費版）をご活用ください。詳細は[こちら](#)。

本件問い合わせ先：
大阪大学 共創機構 共同研究支援室
kyousou-jigyo-zyutaku@office.osaka-u.ac.jp
※@は半角に置き換えてください。